



# 市民病院通信

## 災害に備える市民病院



26年5月に行われた愛知県防災会議で、南海トラフ地震の被害想定が見直され、西尾市は県内で最も深刻な被害が出るとの想定が出されました。市民病院は19年に災害拠点病院に認定。災害時には地域医療の核として応急対策業務を行います。災害時に一刻も早く通常業務を再開し、医療業務に対応するため、11月5日に行われる「西尾市総合防災訓練」に合わせて防災訓練を実施しています。

昨年度は、重症度や緊急度などで傷病者を分類し、治療や搬送の優先順位を決定する「トリアージ」訓練を実施しました。想定は大規模地震の発生により、家屋や道路が損壊し、電気・通信・ガス・水道などのライフラインが甚大な被害を受けたというもの。市内に負傷者が多数発生し、来院した患者さんと搬送された患者さんにトリアージと応急救護活動を行いました。

患者さんは、まずトリアージを受けます。トリアージは、救命処置の優先順に「赤↓黄↓緑↓黒」の4種類のタグがあります。赤は生命が危機的な状態で、すぐに治療が必要な状態。黄は生命は危機的な状態ではないが、早期の治療が必要な状態。緑は緊急ではない軽症、黒は死亡し

ているまたは治療しても生存の可能性がない状態を指します。トリアージのタグに必要な事項を記載し、患者さんの容体や病状などを把握・管理します。多数の傷病者が一斉に受診するので、迅速で正確な対応が求められます。医療スタッフや医薬品など、医療資源が限られている中で、多くの傷病者の中から、救助可能な方を確実に救い、できるだけたくさんの方を治療するために、トリアージが必要です。

災害はいつ発生するか分かりません。そのため、毎回真剣に訓練に取り組んでいます。そして、問題・反省点を洗い出し、次につなげることが大切です。災害が発生したときに、適切に対応できるよう、これからも訓練を継続していきます。



## 市民病院 Q & A

**Q** 入院したのですが、退院後の生活が不安です。誰に相談すればいいですか？

退院調整看護師 浅岡早苗

**A** 退院支援・医療福祉相談室の退院調整看護師や医療ソーシャルワーカーなどが、退院の支援や調整を専門に行っています。患者さんやその家族の方の思いや意思を尊重し、退院（転院）のお手伝いしています。患者さんに関わるスタッフと連携しながら、安心して退院でき、退院後もその人らしく生活できるよう、チームで支援しています。

具体的には、退院後や転院先の施設探し、在宅療養・サービスの紹介、介護保険や在宅で行う医療処置の説明などをしています。受診が困難なときの訪問診療の手配や、社会資源の活用など、在宅医療の関係職種と連携し、退院後の生活も支援します。患者さんには、入院の早期から関わります。入院時に心配なことがあれば、病棟スタッフに申し出てください。入院中に、医師や看護師から退院の支援を依頼されれば、退院調整看護師や医療ソーシャルワーカーなどが、すぐに声掛けをします。

その他、心配・不安なことがあれば、退院支援・医療福祉相談室に、気軽にご相談ください。

**問** 市民病院管理課 (☎56・3171)